

# 一 県産材の増産 一

森林所有者、森林組合、林業事業者、林業従事者等を対象に最先端技術の導入による主伐再造林の低コスト化、森林経営の集積、林業担い手の確保・育成に取り組むこととし、今年度において次のとおり取り組みました。

## ◎今治地区シカ獣害対策モデル事業の経過報告

今治地区においても主伐・再造林を推進していますが、シカ獣害が多発しており、その対策としてツリーシェルターや防護柵による獣害対策を実施しているにもかかわらず、**ツリーシェルターの倒伏や防護柵の一部破損によるシカ獣害**は後を絶ちません。

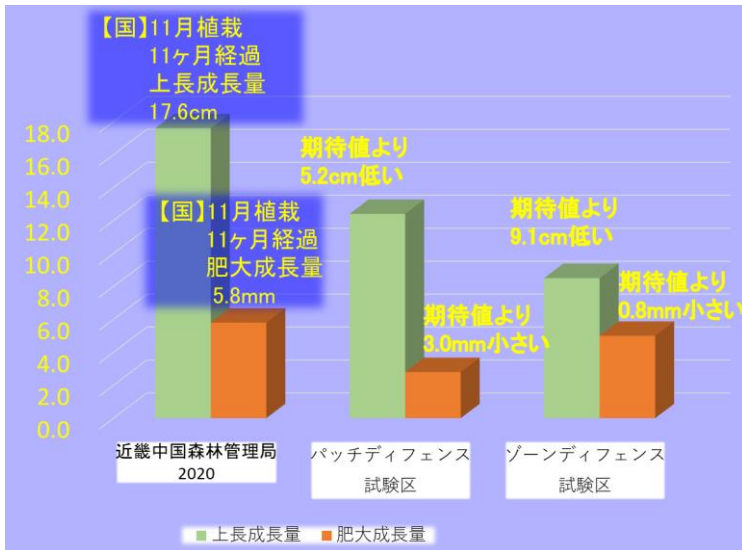
そこで、令和3年度に実施した、**伐区を小規模ロットに区切って防護柵を設置(パッチディフェンス)し、造林木にエリートツリー(コンテナ苗)を植栽したモデル事業試験区**の**設置後1年経過した状況報告**を行います。

5m×33mの大きさを基準としたパッチを5列作り面積0.1haのパッチディフェンス試験区を設定し、ステンレス線を編み込んだ5cmメッシュの防護網により防護柵を、パッチ間に1.0m幅の獣道を設けております。

また、対照区として面積0.1haのゾーンディフェンス試験区を設定しています。



試験区	当初(R3.11.29)		中間(R4.7.8)		現在(R4.12.27)	
	パッチディフェンス造林	ゾーンディフェンス造林	パッチディフェンス造林	ゾーンディフェンス造林	パッチディフェンス造林	ゾーンディフェンス造林
調査本数(本)	60	60	60	60	60	60
枯損率(%)	—	—	13.3	6.7	30.0	23.3
食害率(%)	—	—	0	0	0	0
平均苗木高(cm)	67.9	72.0	72.1	75.0	80.3	80.5
上長成長量(cm)	—	—	4.2	3.0	12.4	8.5
平均株元径(mm)	5.1	3.5	6.8	4.8	7.9	8.5
肥大成長量(mm)	—	—	1.7	1.3	2.8	5.0



左表のとおり両試験区ともに、**上長成長量、肥大成長量が期待した値を下回っていますが、これは下表のとおり令和4年全年を通した異常湯水**がその一因ではないかと考えています。

また、この試験に併せて、試験区内のススキや**ササ等の下刈り作業省略のため、テトラピオン粒剤**を8g/m<sup>2</sup>散布しましたが、**広葉雑草駆除のためには、トリクロピル粒剤の散布も必要**です。

今治市の降水量(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
近年30年間の平均降水量	49.6	59.8	96.6	97.0	111.8	196.2	191.8	93.8	165.2	122.2	69.6	59.4
2022年での降水量	45.5	28.5	103.5	94.5	41.5	109.0	236.5	33.5	99.5	37.0	52.0	24.0

## ◎親子木工広場

木とのふれあいを通じて、「木の良さ」や「ぬくもり」を感じてもらおうとともに、生活の中にある木材に対する理解を深めてもらうことを目的に、越智今治地域「地産地消の家づくり」協力工務店等の協力により、親子木工広場を開催しました。

はじめは鋸や金槌の扱いに戸惑っていた子供たちも、大人の協力を得ながらみんな無事に木箱や本立てを完成させました。



地元材を使用した本立て・木箱づくり  
令和4年11月23日 参加者20名



完成作品を手にみんなではいポーズ！

## － 県産材の需要拡大 －

公共施設をはじめ民間施設への県産材・CLTの利用促進、愛媛ブランド材「媛すぎ・媛ひのき」を核とする県産材の販路拡大に取り組むこととし、今年度において次のとおり取り組みました。



媛すぎ  
媛ひのき

### ◎「地産地消の家づくり」への取り組み

当管内では、今治地区内（今治市、上島町）で生産又は取り扱われている県産材及び製材品等を利用した安全・安心で自然にやさしい家づくりを推進し、**地域材の需要の拡大を図ることを目的**に、「地産地消の家づくり」セミナーを開催するとともに、「顔の見える家づくり事業」により地域材住宅建設支援を実施しています。

#### 《「地産地消の家づくり」セミナー（一般県民対象）》

令和4年10月8日（土）「越智今治森林組合会議室」において、令和3年度に引き続き、**「反省を踏まえた失敗しない家づくり」**をテーマに、県産材家づくりに関心を持たれる一般の方（参加者8名）を対象にセミナーを実施しました。

当セミナーでは、森林林業課今治駐在職員自らが外装、部屋割り等デザインした家で、居住期間10年経過した今だからこそ言える反省点をさらに深掘りして紹介。

さらに、この反省点に対して地元1級建築士建築設計事務所からアドバイスが行われるとともに、施工事例の紹介や光や熱、風といった自然のエネルギーを取り入れやすくする家づくりの工夫について情報提供をいただき、参加者の地域材住宅建設への意欲をかき立てていただきました。



## 《顔の見える家づくり事業》

地域材の利用状況により1戸あたり100,000円または150,000円以内を支援しており、本年度は5戸（10万円4戸、15万円1戸）の新築住宅に助成を行いました。

助成には条件がありますので、詳細は事務局へお問い合わせください。

